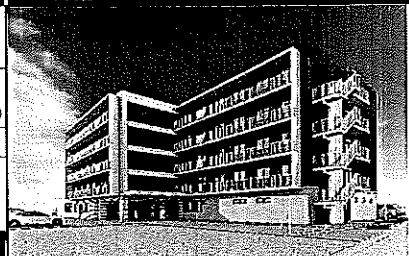


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	階数	地上5F
建設地	京都府宇治市	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2022年8月22日
敷地面積	2,577㎡	作成者	
建築面積	1,062㎡	確認日	2022年8月22日
延床面積	4,522㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)																
<p>BEE=0.9 ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>③上記②以外の</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>94%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	94%	③上記②以外の	94%	④上記+	94%	<p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>③上記②以外の</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>94%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	94%	③上記②以外の	94%	④上記+	94%	<p>Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境</p>
①参照値	100%																	
②建築物の取組み	94%																	
③上記②以外の	94%																	
④上記+	94%																	
①参照値	100%																	
②建築物の取組み	94%																	
③上記②以外の	94%																	
④上記+	94%																	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Qのスコア = 2.6</p> <p>LRのスコア = 3.3</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 2.6</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 2.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.2</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 4.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 2.7</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>複層ガラス等により外皮性能を高め、高効率設備を選定することにより、一次エネルギーの低減を図った。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>全館禁煙。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>バリアフリー条例を遵守。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>最低限の駐車場を確保しつつも、極力敷地内緑化を行った。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>高効率な設備機器、器具の選定により一次エネルギーの低減を図った。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>地産木材の利用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>0</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される